



田辺三菱製薬

田辺三菱製薬株式会社 (証券コード 4508)

Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

2019年3月12日 (火)

広報部IRグループ

グループマネジャー

高井 善章

本日のご説明内容

- 田辺三菱製薬の概要
- 田辺三菱製薬の成長戦略
- 株主還元
- 社会的課題の解決へ向けて

田辺三菱製薬の概要

発足

2007年10月

(田辺製薬と三菱ウェルファーマが合併)

本社住所

大阪市中央区道修町3-2-10

代表取締役社長

三津家 正之

(みつか まさゆき)

資本金

500億円

(2017年度末現在)

連結従業員数

7,187人

(2017年度末現在)

連結売上収益

4,338億円

(2017年度)



三菱ケミカルホールディングスグループ



沿革

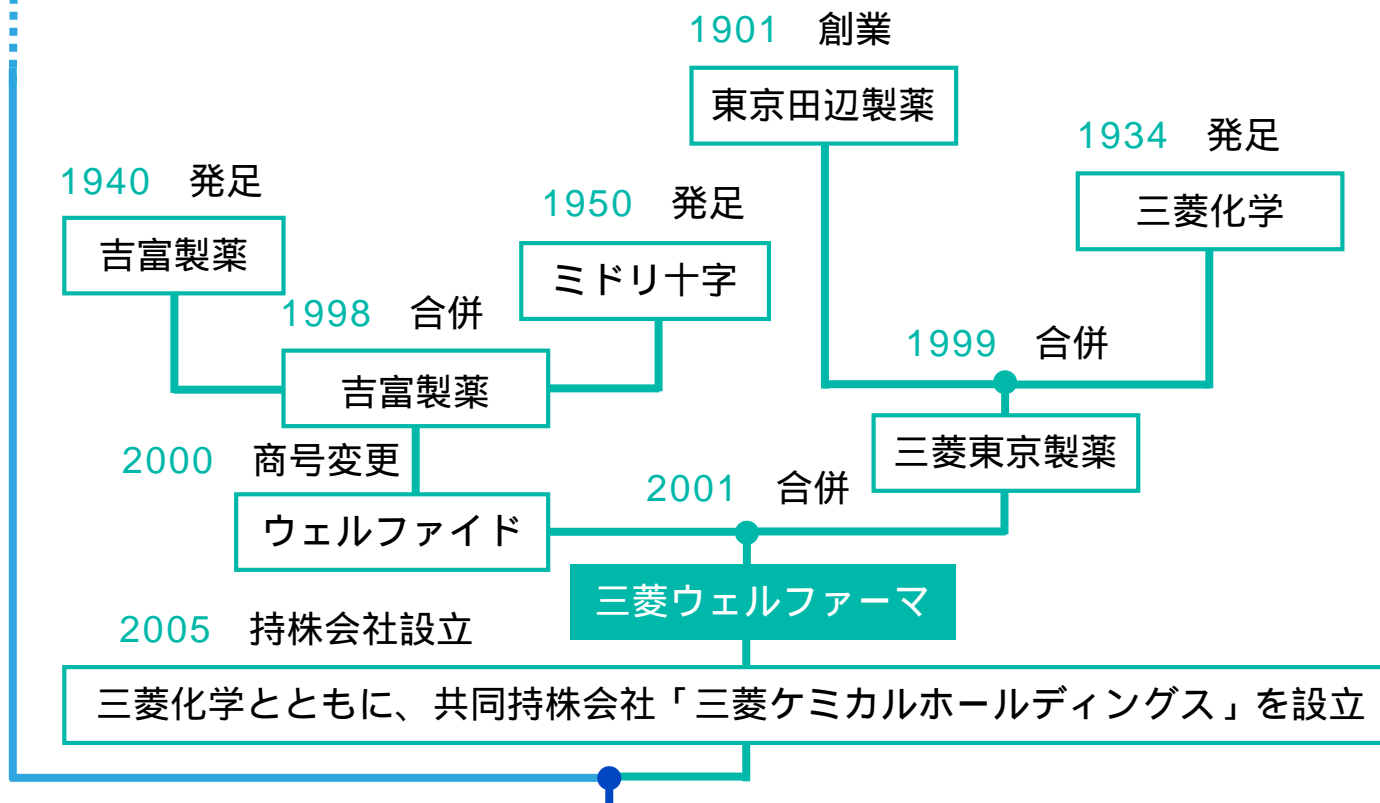


1678 創業 創業以来、**340**年の歴史をもつ

田辺製薬



創業当時の
軒下看板



2007 田辺製薬と三菱ウェルファーマが合併し、田辺三菱製薬が発足

2017年度連結業績（IFRS基準）

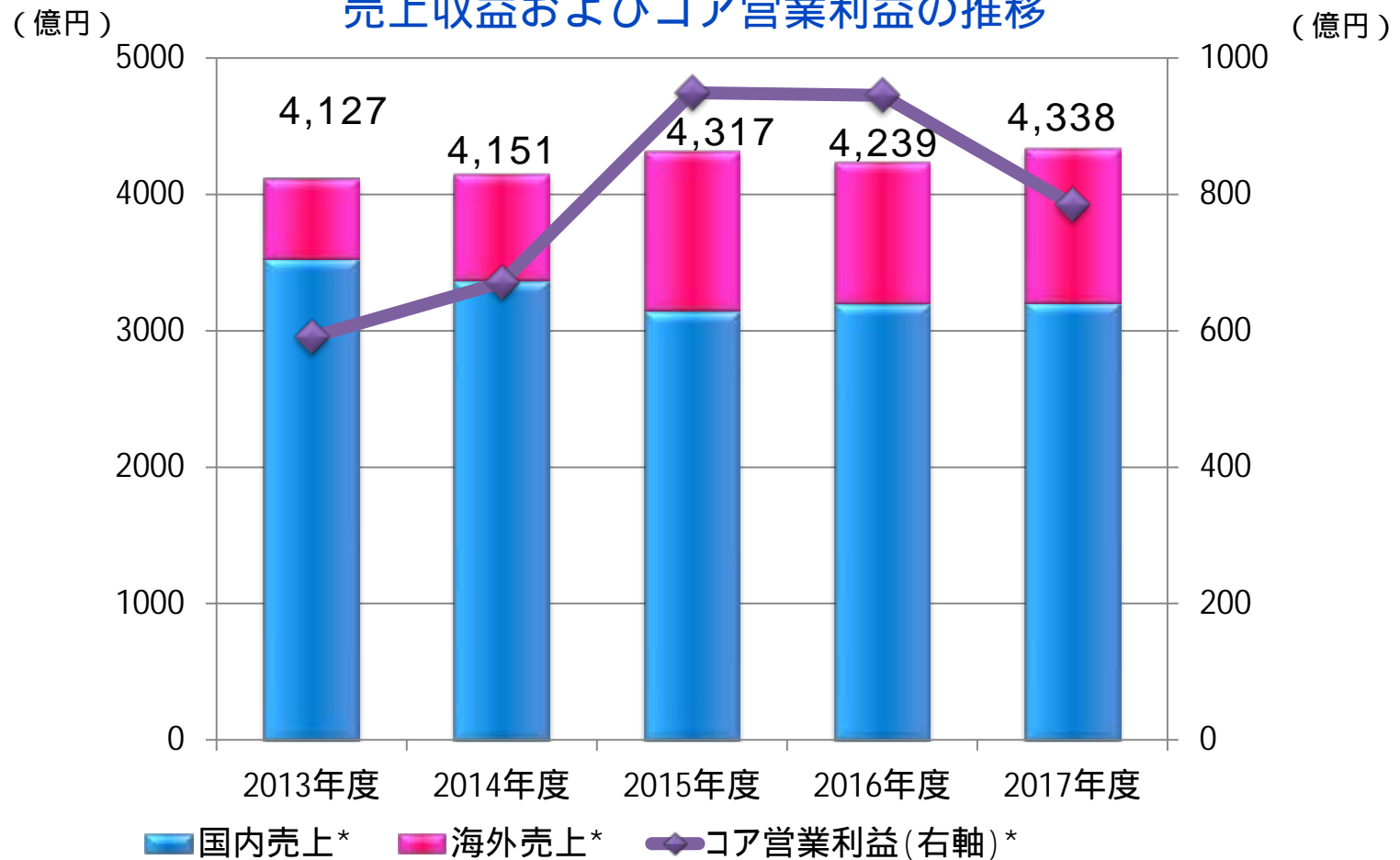
売上収益

4,338億円

コア営業利益

785億円

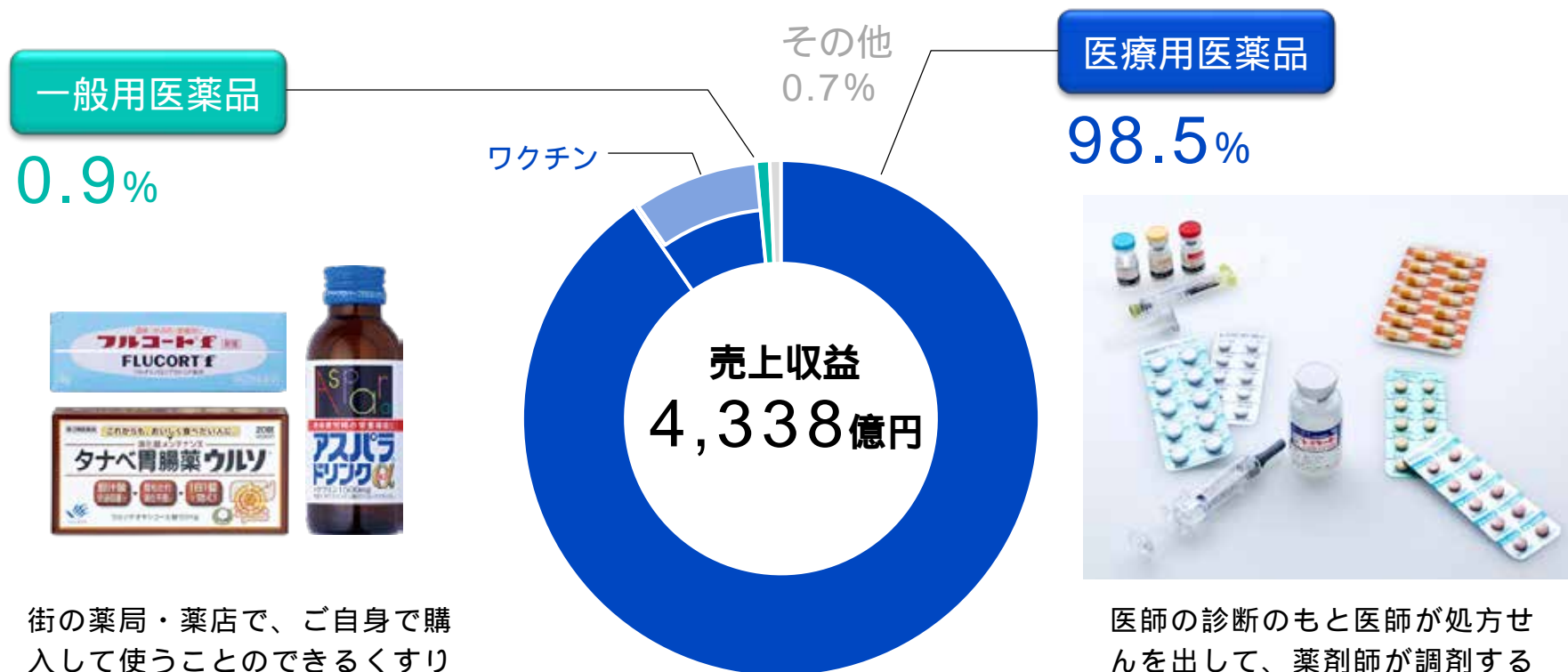
売上収益およびコア営業利益の推移



*2015年度までは日本基準の売上高、営業利益

連結売上収益内訳

約99%が医療用医薬品による売上収益



街の薬局・薬店で、ご自身で購入して使うことのできるくすりを一般用医薬品（または大衆薬、市販薬）といいます。

医師の診断のもと医師が処方せんを出して、薬剤師が調剤するものを医療用医薬品（または処方薬）といいます。

国内医療用医薬品（4つの重点領域）

免疫炎症系疾患

レミケード

646億円

<薬効>
関節リウマチ
などの治療



シンポニー

321億円

<薬効>
関節リウマチの
治療



ワクチン

インフルエンザワクチン

99億円

インフルエ
ンザの予防



テトラビック

87億円

百日せき、ジフ
テリア、破傷風
及び急性灰白髄
炎の予防



糖尿病・腎疾患

テネリア

175億円

<薬効>
2型糖尿病の
治療



カナグル

56億円

<薬効>
2型糖尿病の
治療



カナリア

18億円

<薬効>
2型糖尿病の
治療



中枢神経系疾患

レクサプロ

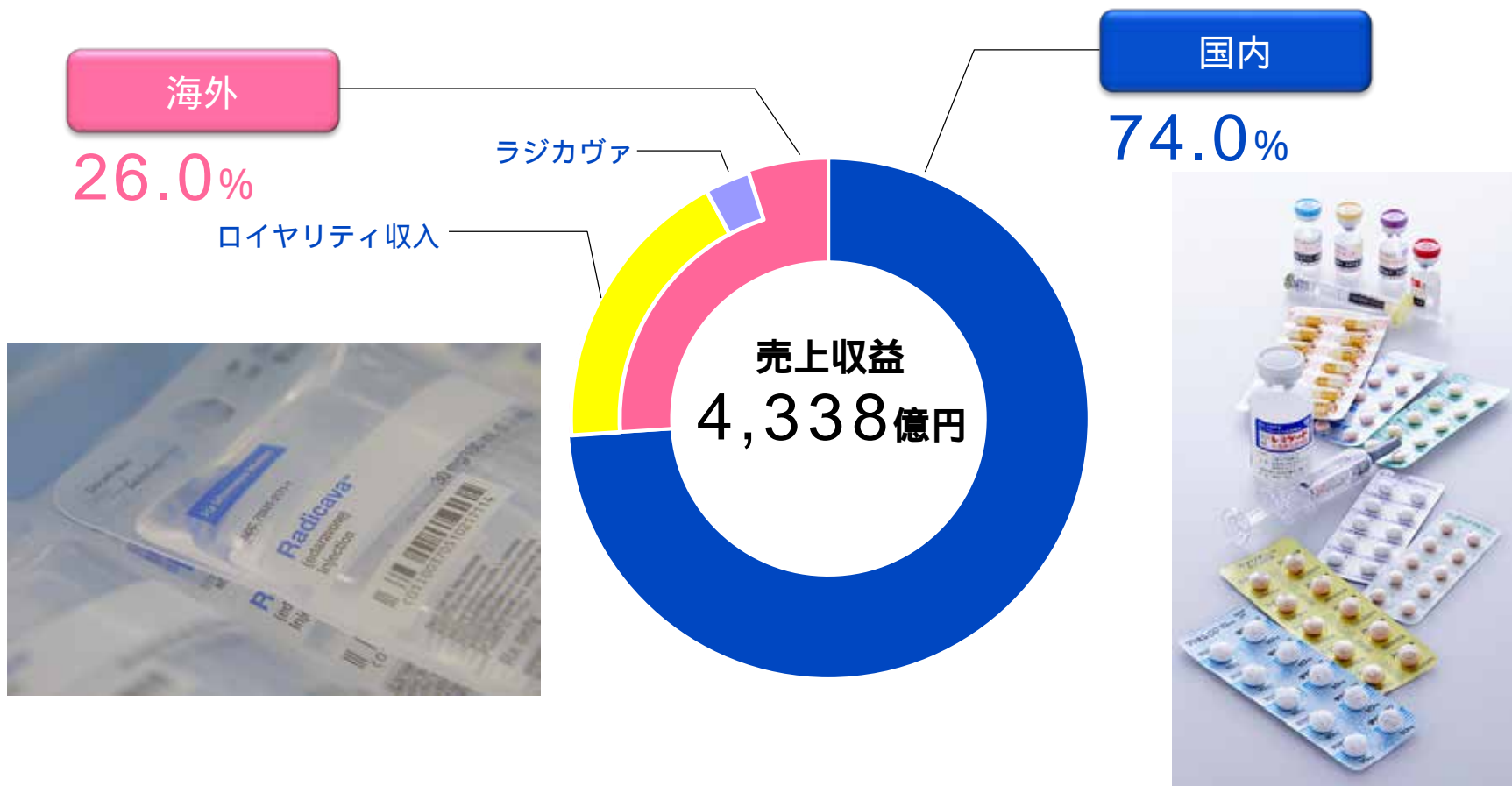
127億円

<薬効>
うつ病などの
治療



海外売上収益内訳 (2017年度)

海外売上収益比率は **26%**

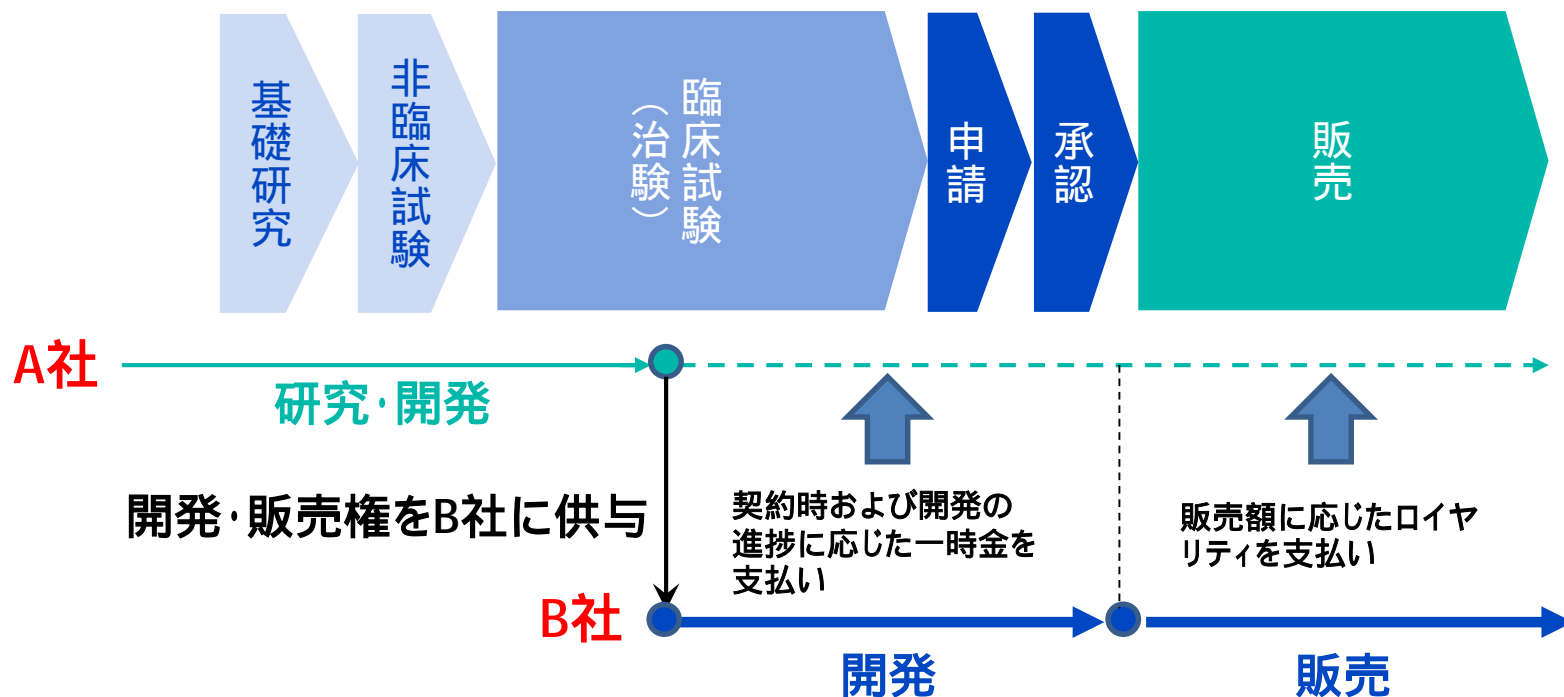


ロイヤリティ収入

ロイヤリティとは

特許権など、特定の知的財産権を利用する利用者から、権利を持つ者に支払われる対価。

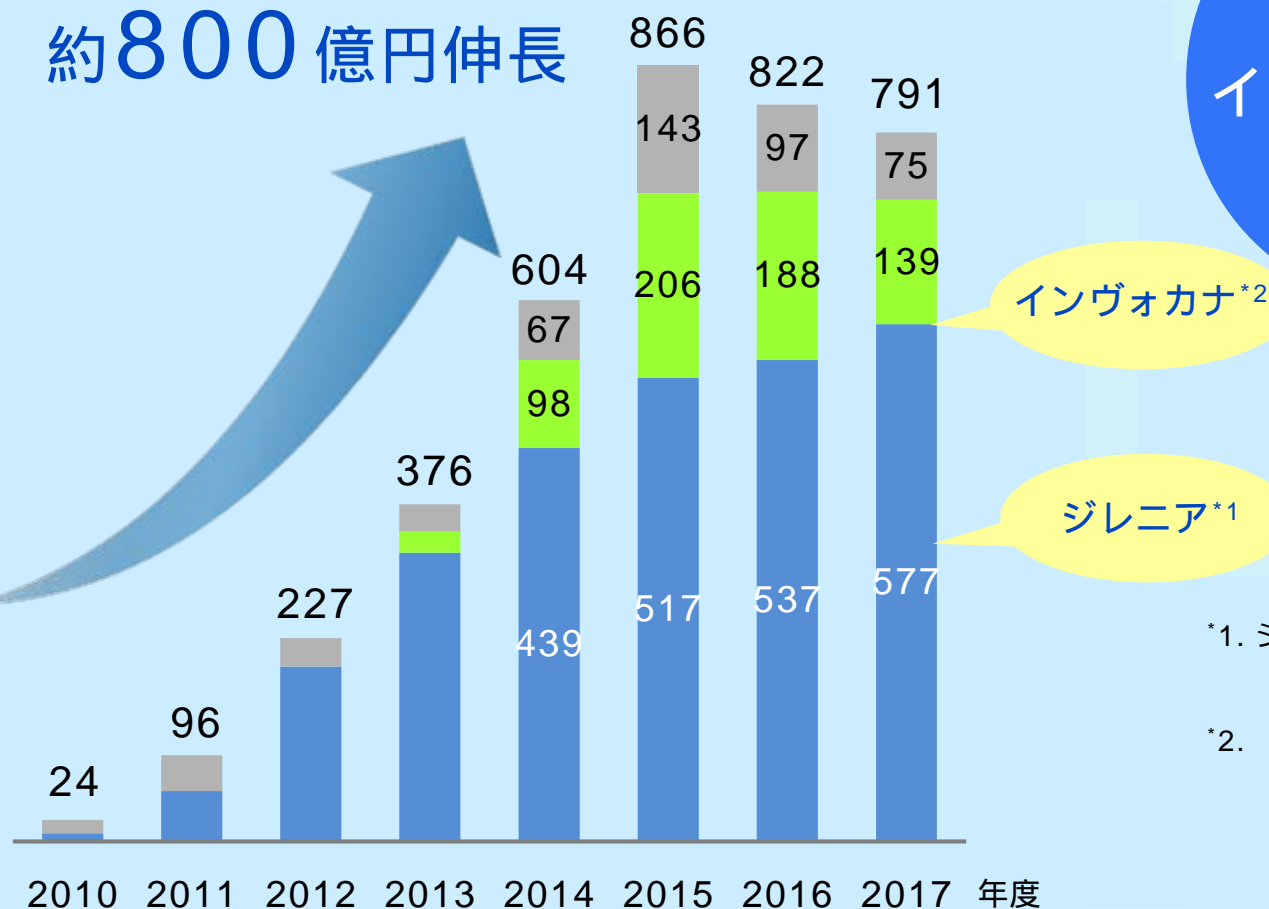
< 製薬企業の場合 >



ランニングロイヤリティ（RR）/マイルストーン（MS）収入

単位：億円（2014年度まで日本基準、2015年度以降IFRS基準）

約800億円伸長



ジェリアと
インヴォカナが
大型化

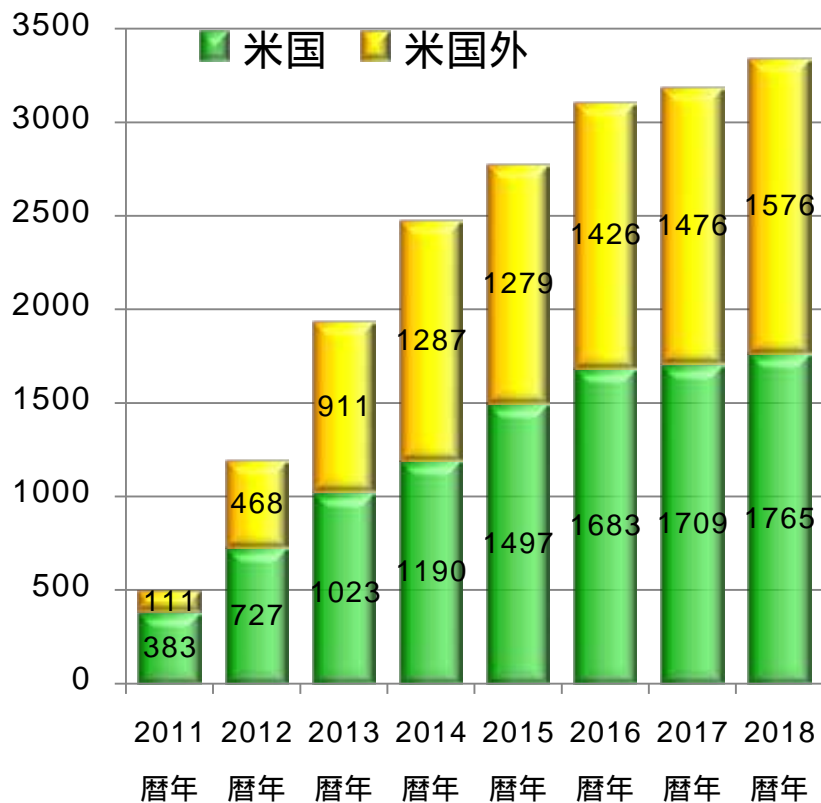
- *1. ジェリア（欧米）：
多発性硬化症治療薬
（日本販売名：イムセラ）
- *2. インヴォカナ（欧米）：
2型糖尿病治療薬
（日本販売名：カナグル）

田辺三菱製薬が創製した **世界初の経口** 多発性硬化症治療薬

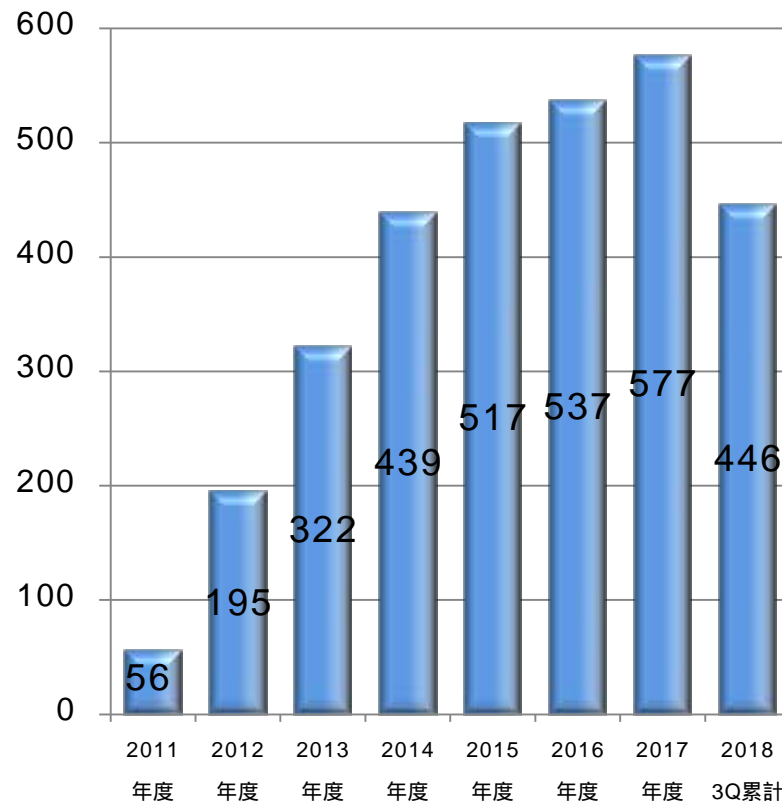
1997年にノバルティス（スイス）に導出し、**2010**年に米国で発売

2019年8月に米国で物質特許が満了

(百万ドル) **ノバルティスの売上**



(億円) **当社ロイヤリティ収入**

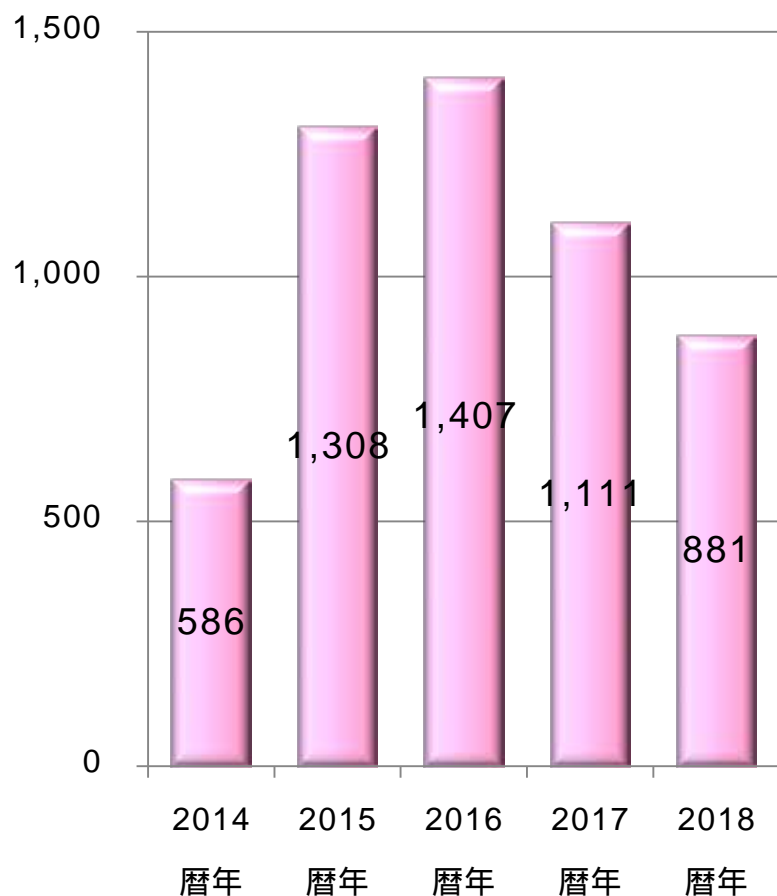


インヴォカナ・インヴォカメット

田辺三菱製薬が創製した**世界初**の経口SGLT阻害物質(型糖尿病治療薬)
米国、欧州、オーストラリアなど世界80か国以上で承認取得

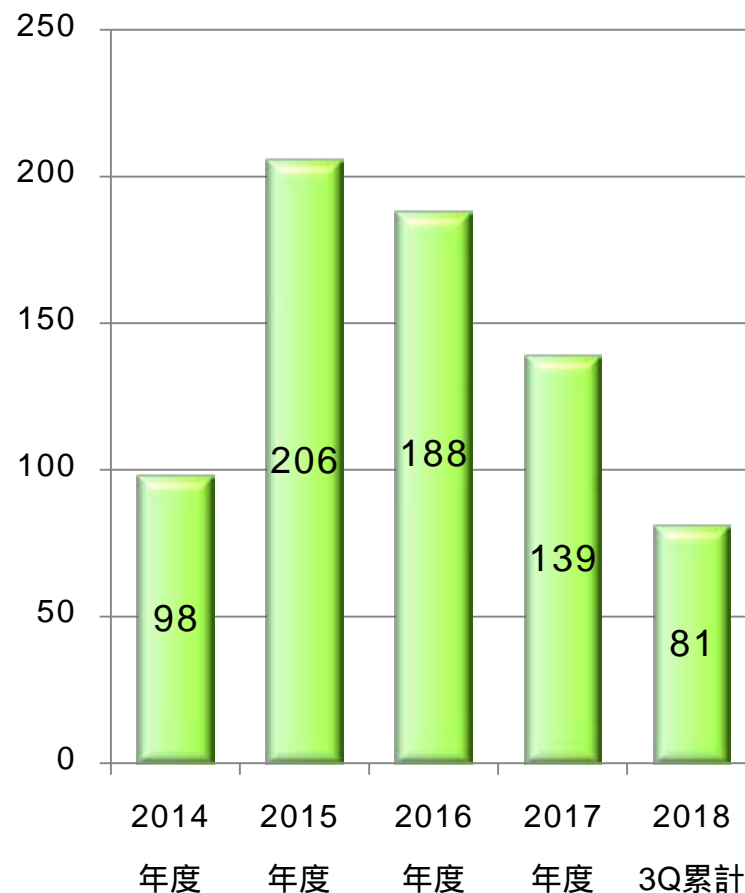
(百万ドル)

J&Jの売上



(億円)

当社ロイヤリティ収入



田辺三菱製薬の成長戦略

Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

医薬品産業を取り巻く環境が急激に変化する中、我々は自ら道を切り拓き、「独自の価値を一番乗りでお届けする、スピード感のある企業」への変革を成し遂げます。

Open Up the Future — 医療の未来を切り拓く

このキーコンセプトのもと、田辺三菱製薬は医療の未来を切り拓き、新たな医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します。

未来を切り拓く「4つの挑戦」

1

パイプライン価値最大化

後期開発品目標

10品目創製(導入品含む)

研究開発投資

4,000億円

投資

3

米国事業展開

米国売上収益目標

800億円(2020年度)

米国戦略投資

2,000億円以上

2

育薬・営業強化

国内売上収益目標

3,000億円(2020年度)

新薬および重点品売上比率75%

重点疾患領域

自己免疫、糖尿病・腎、中枢神経系、ワクチン

収益

4

業務生産性改革

売上原価・販管費削減目標

200億円(2020年度：対15年度比較)

従業員数

国内連結5,000人体制*

*2017年3月末現在：5,360人

2020年度 経営数値

(単位：億円)

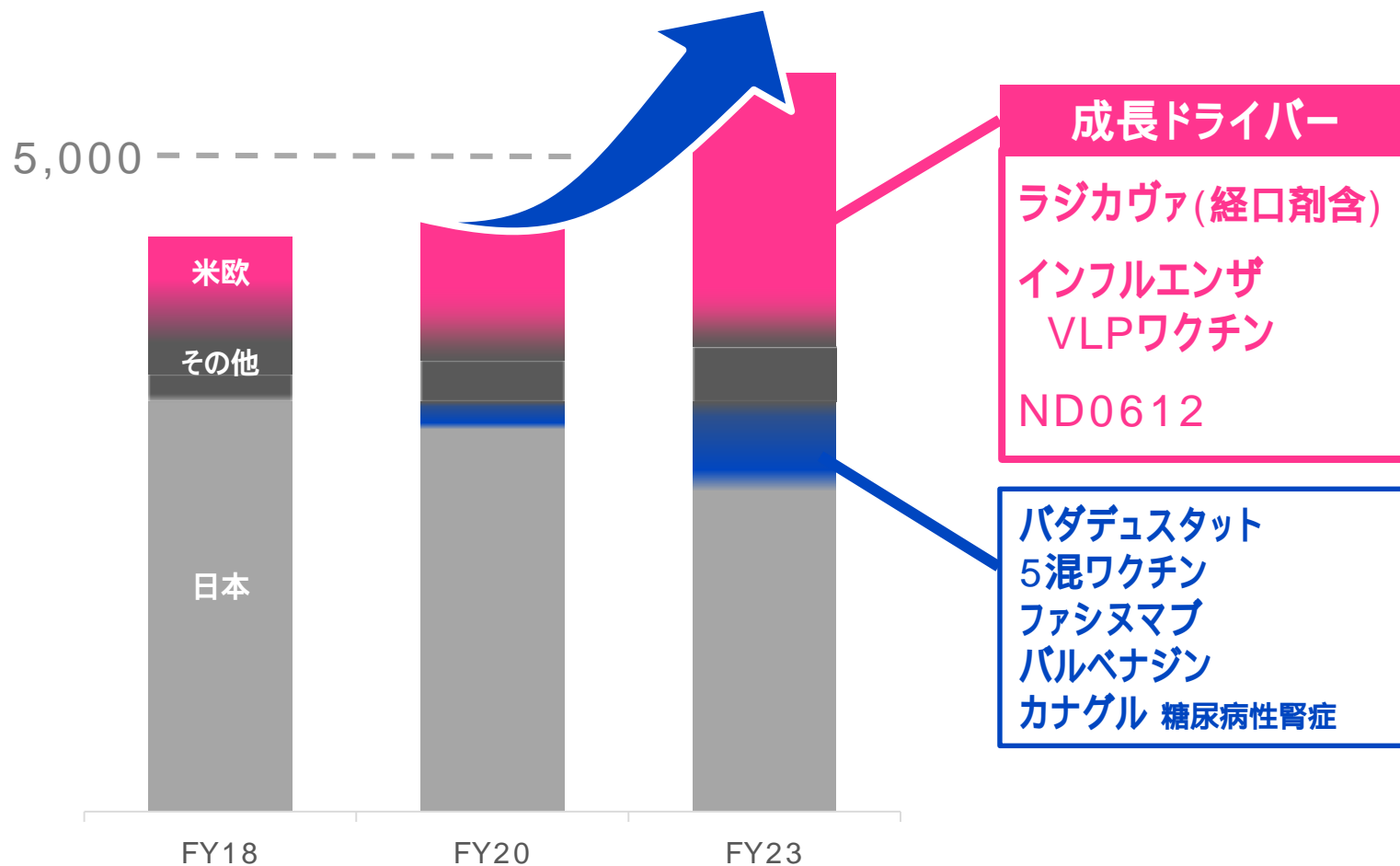
	20年度 当初目標	20年度 見直し後	23年度 経営数値 (イメージ)
売上収益	5,000	4,300	5,000
国内	3,000	3,000	
海外	2,000	1,300	
コア営業利益	1,000	600	1,000
親会社株主帰属純利益	700	400	
研究開発費	800	850	800
海外売上高比率	40%	30%	

19-23年度で、戦略投資枠3,000億円を予定

当社は2018年11月19日、「中期経営計画16-20」の見直しについて公表いたしました。

成長の加速

目標達成時期は3年延びるも、2023年度、
売上収益5,000億円、コア営業利益1,000億円を超える



ラジカヴァ 米国で販売開始

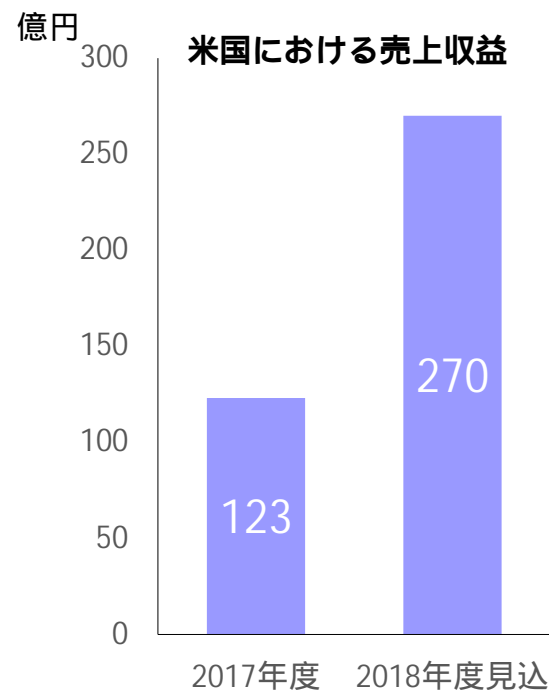
ALS治療薬「ラジカヴァ」（日本製品名「ラジカット」）
米国で22年ぶりの新薬



- ◆米国発売：2017年8月
- ◆年間薬価：148,000ドル
- ◆累計投与患者数：約3,500人（2018年12月末現在）

筋萎縮性側索硬化症（ALS）

- ▶ 運動ニューロンが**変性消失し、筋萎縮と筋力低下**を引き起こす**神経難病**
- ▶ **進行性**の経過をたどり、多くは発症後およそ2 - 5年で**呼吸不全により死に至る**
- ▶ 米国の患者数は**約2万人**、毎年**約5,000～6,000人**の患者がALSと診断されている。



ラジカヴァ

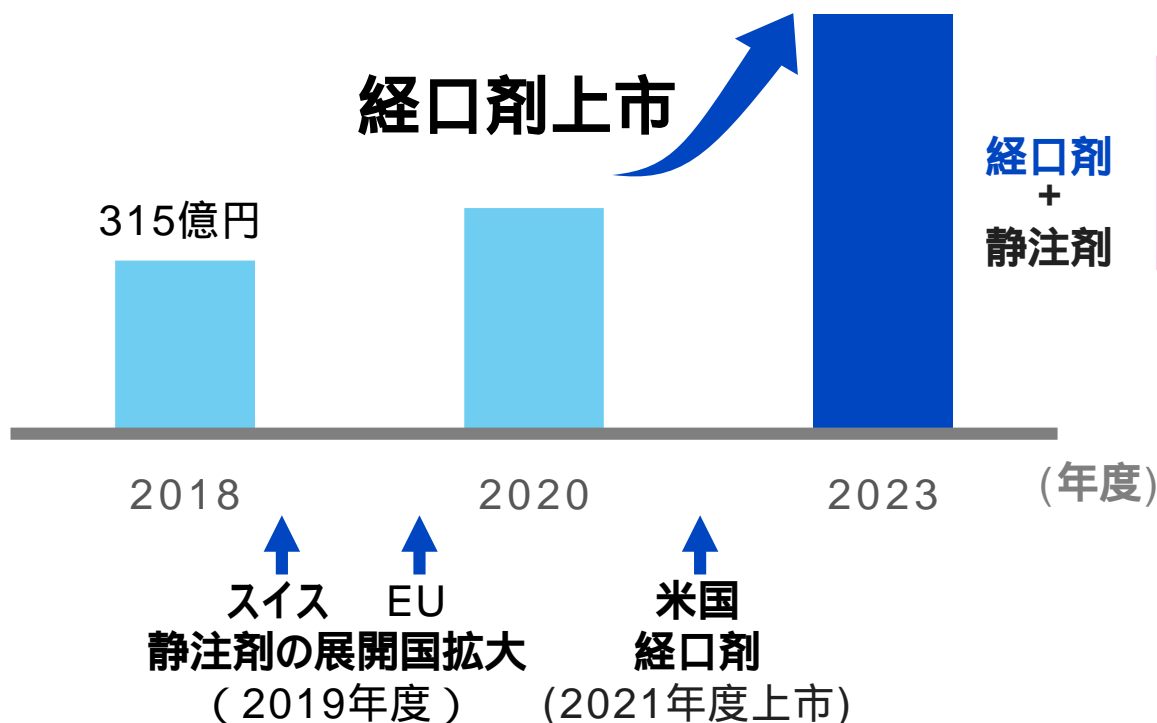


順次、展開国の拡大を図り、2021年度に経口剤(MT-1186)を米国で上市し、売上収益を最大化する

ラジカヴァ
経口剤の
魅力

- 点滴静注投与による長時間拘束の解消
- 投薬場所による制限の解消
- ALS患者さんが服用しやすい懸濁剤の開発

米欧売上



ピーク時売上
700 ~ 1,000
億円

植物由来 季節性インフルエンザVLPワクチン

カナダの子会社 メディカゴが臨床試験を実施、第3相臨床試験を終了し
米国、カナダで申請準備中

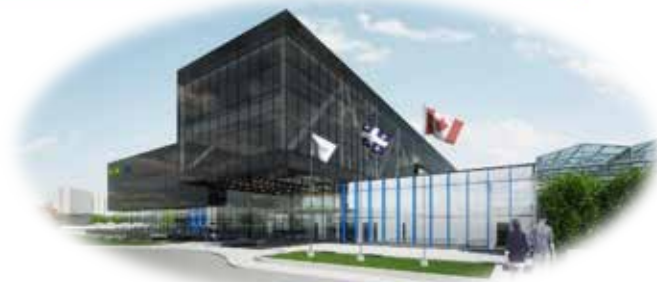
インフルエンザVLP*ワクチンの特徴

- ・ 製造期間の短縮
- ・ 鶏卵ワクチンで見られる有効性低下を回避



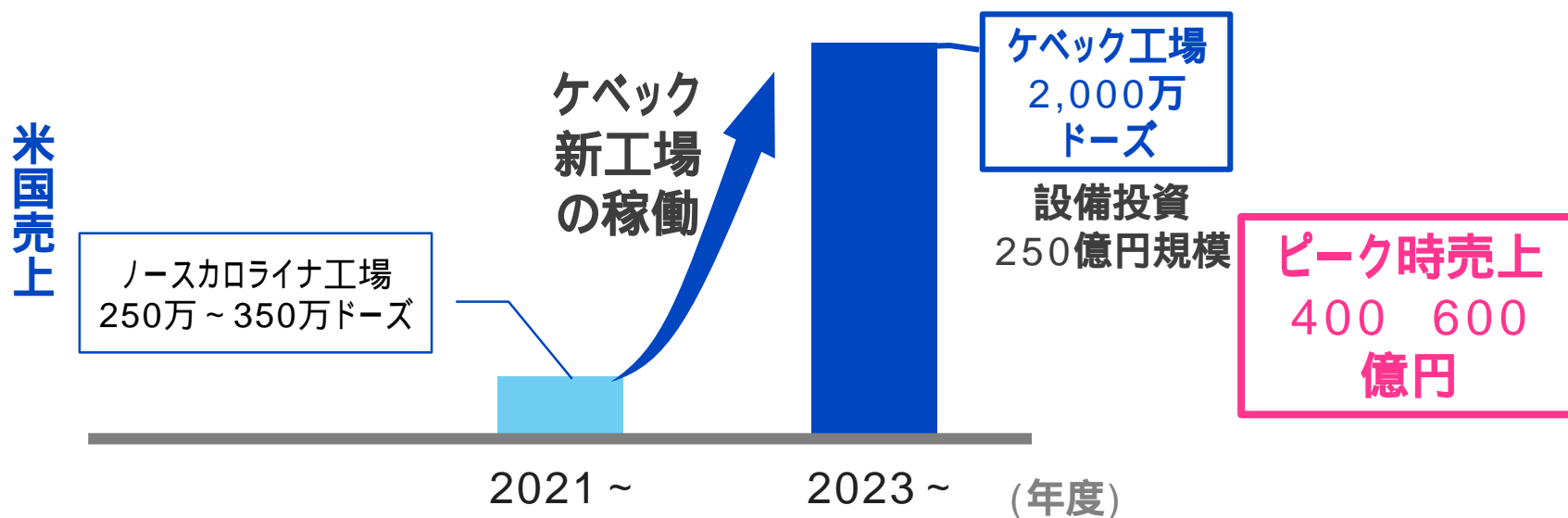
*VLP(Virus-Like Particle: ウイルス様粒子)は、ウイルスと同様の外部構造を持ち、
ワクチンとして高い免疫獲得効果が期待される

植物由来 季節性インフルエンザVLPワクチン



成人P3試験を終了し、事業化準備へ

- n 米国、カナダで申請準備中（2021-22年シーズンより販売開始）
- n 高齢者・小児も含め開発を推進
- n ケベック新工場の稼働により供給体制を本格化（2023-24年シーズンより）



ニューロダーム社買収概要

名称：ニューロダーム社

設立／所在地：2003年設立／イスラエル国レホヴォト

買収金額の総額：1,244億円

買収完了：2017年10月

事業領域：中枢神経系治療薬（パーキンソン病等）の研究開発。

品目名	一般名	想定適応症	ステージ
ND0612	レボドパ／カルビドパ 持続皮下注投与ポンプ／パッチ製剤	パーキンソン病 （中等度／重症）	P3 準備中

米国・欧州で2022年度の上市をめざす

ND0612ポンプ製剤

ND0612パッチ製剤（デバイス開発中）

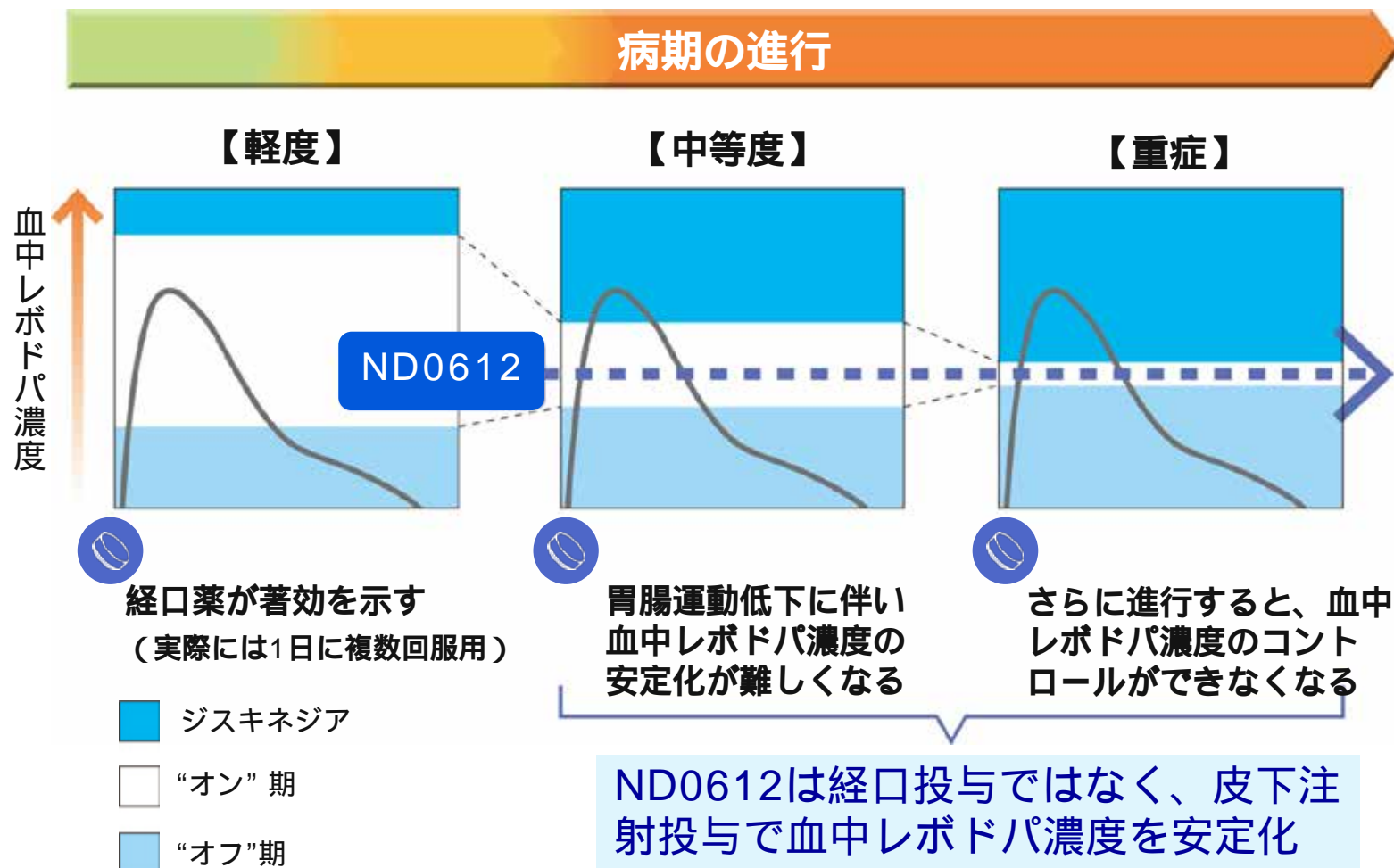


ピーク時売上
500～800
億円

ニューロダーム社が有する製剤技術により、経口治療薬であるレボドパおよびカルビドパの液剤化に世界で初めて成功し、それらを携帯ポンプにより24時間持続的に皮下注射する製剤

ND0612の概要

- ND0612は血中レボドパ濃度の安定化により、薬の効き目がきれる“オフ期”および薬が効きすぎる“ジスキネジア”を減少させる効果が期待できる

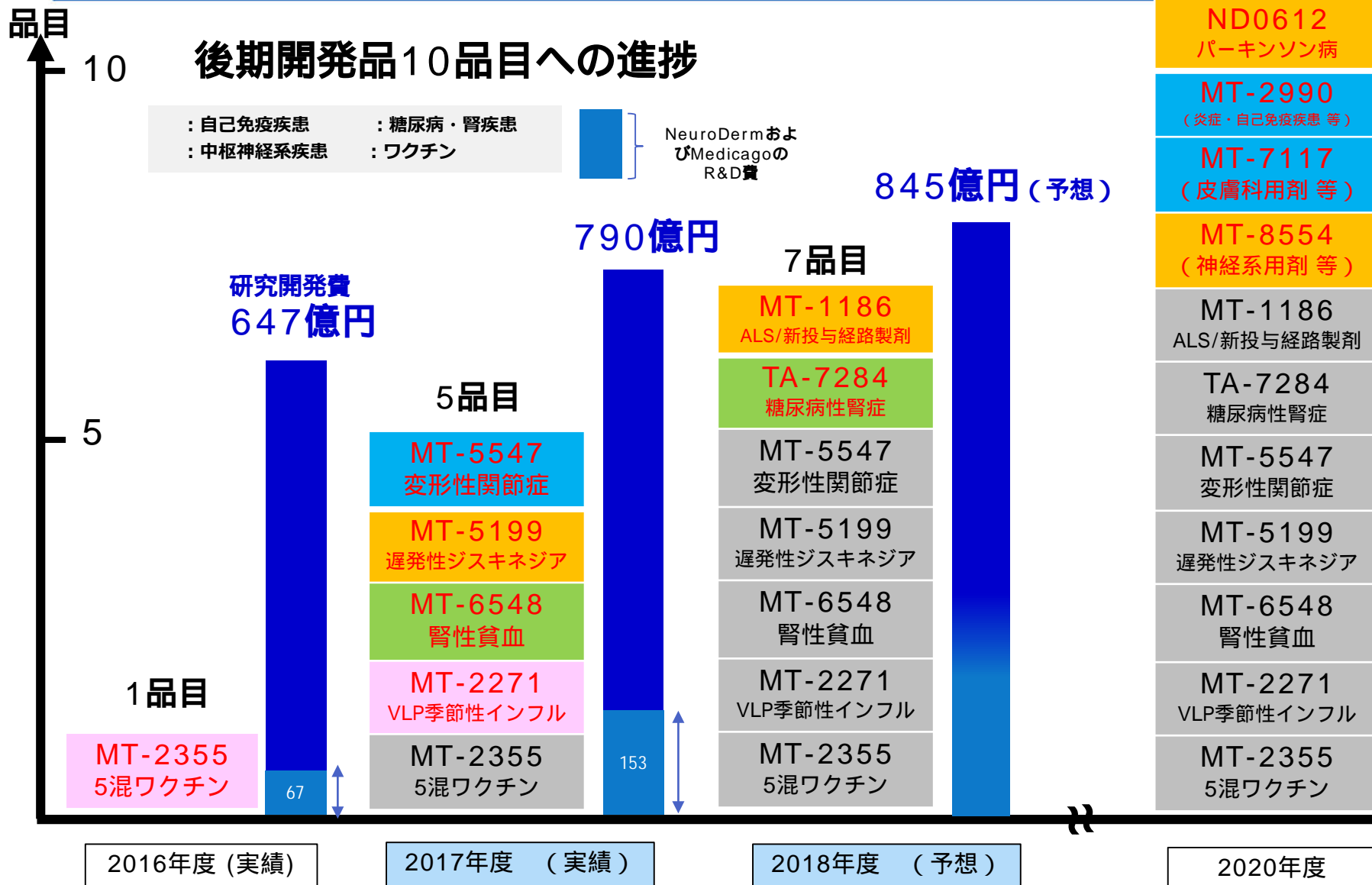


新たな品目の投入

更なる成長をけん引する自社研究所オリジナル品

品目	適応症 (開発段階)	特長	ピーク時 想定売上
MT-8554	血管運動神経症状他 (P2)	ホルモン療法のニーズを解消する、高い安全性が期待できる新規作用機序の非ホルモン療法	>1,000億円
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症 (P2)	光過敏症を予防する経口低分子治療薬 (Fast track指定済み)	>200億円
MT-1303	炎症性腸疾患他 (P2)	徐脈発現リスクが低い、次世代S1P受容体機能的アンタゴニスト	>500億円
MT-3995	非アルコール性脂肪肝炎他 (P2)	循環作用が少なく、高い有効性が期待できるミネラルコルチコイド受容体アンタゴニスト	>1,000億円
MT-3921	脊髄損傷他 (前臨床)	神経細胞の再生を促すヒト化抗RGMa抗体 (大阪大学と共同で創製)	>1,000億円

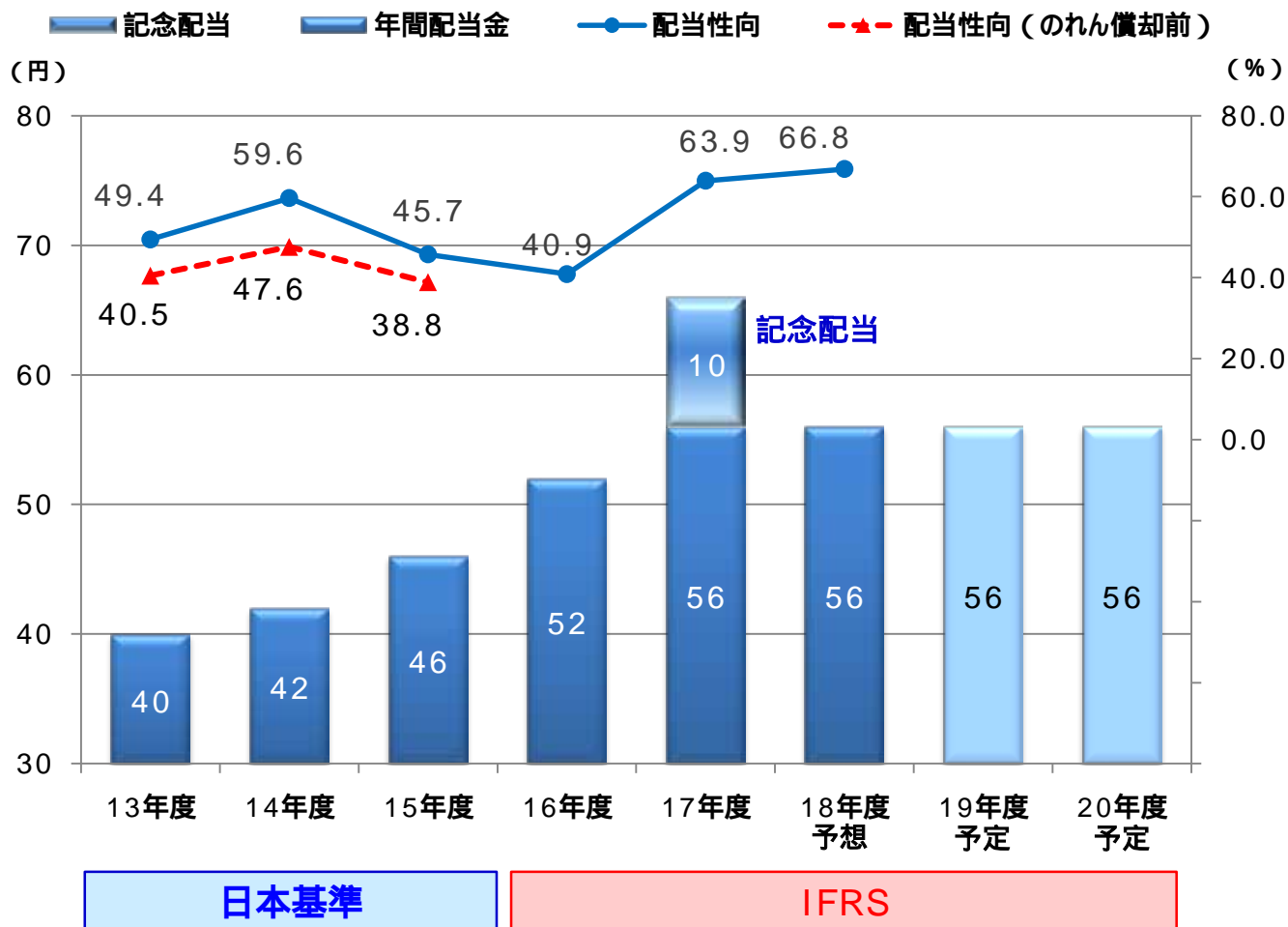
パイプライン価値最大化



株主還元

配当金推移

- 安定的かつ継続的に株主還元を充実させ、連結配当性向50%を目途とする
- 中期経営計画16-20の期間は、現状の配当（年間56円）を維持



発行済株式総数

561,417,916株

(発行可能株式総数：2,000,000,000株)

一単元の株式数

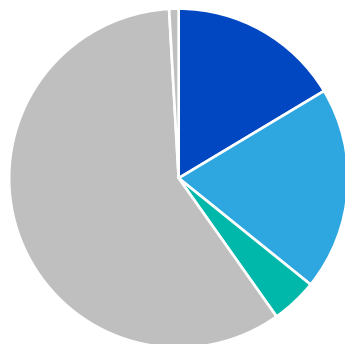
100株

株主数

20,150名

(2018年3月末現在)

所有者別株式分布状況



金融機関 16.4%

外国法人等 19.4%

個人・その他* 4.5%

その他の法人 58.8%

金融商品取引業者 1.0%

* 個人・その他には自己株式(2018年3月末431千株)を含む

主要株主(持株比率)

三菱ケミカルホールディングス	56.3%
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	4.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	2.2%
日本生命保険	2.2%
MSCO CUSTOMER SECURITIES	1.7%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1.3%
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	0.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	0.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口7)	0.7%
ニプロ	0.7%

株価推移（直近1年間）



2018年度選定

(円)



(円)

2019年2月末現在
株価 **1,606円**

時価総額 **9,016億円**

配当利回り **3.49%**

参考

東証1部上場企業平均
(2018年12月末現在)

時価総額 **2,642億円**

配当利回り **2.27%**

(加重平均)

出所：東京証券取引所

社会的課題の解決へ向けて

社会的課題の解決へ向けて

KAITEKI 経営推進のため、7つの重要課題(マテリアリティ)に取り組み、社会的責務を果たすとともに、健康寿命の延伸に貢献する

マテリアリティ

新たな価値を持つ
医薬品・医療
サービスの創製

製品の適正
使用の推進

ステークホルダーとの
対話と信頼され
る情報開示

人々の健康に関連
する社会貢献活動

製品の品質保証と
安定供給

倫理的で
公正・誠実な
事業活動

従業員の健康と
多様性の尊重

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

健康寿命の延伸

社会的責務を果たす

SDGs : Sustainable Development Goals

国連が2030年までの達成をめざす「持続可能な開発目標」

注意事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がございますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

広報部IRグループ

TEL : 06-6205-5110 FAX : 06-6205-5105